

今年の干支、羊を作成

新年、おめでとうございます。今年も平成の森・川島病院の患者様とともにお正月の作品をつくりました。

今年の干支である羊を張り子でつくりました。羊の特徴であるフワフワな毛並みを、脱脂綿や綿を使って立体的に表現しました。作成方法には、新聞紙をちぎる／新聞紙を貼る／綿をボンドで付ける／お花紙を丸めるなどの工程があり、それぞれ患者様の心身の機能に合わせて、リハビリテーションの一環として実施しました。患者様も笑顔で作品づくりに協力していただき、徐々に出来上がっていく

作品をみて「すっかり
羊らしくなったね」と楽しまれていました。

今後も、達成感を得られる共同作品づくりを提供し、季節を感じながら、楽しんでいただけるようなリハビリテーションを考えていきたいと思います。

(リハビリテーション科 野又 未帆)



寿司バイキング大好評



11月27日、待ちに待った寿司バイキングの日がやってまいりました。御利用者の前には、握りたてのマグロ、サーモン、甘エビ、玉子等が色とりどりに大皿へ並べられ、「おいしいね」「おかわりしようかな」と、嬉しそうに召し上がる姿を見ることが出来ました。あっという間に全てのお寿司を完食。最後に感想を聞くと「次は何かなあ」と笑いながらの一言。職員も一緒になって大笑いし、終宴となりました。

(介護老人保健施設 平成の森 なのはな通り 藤川 栄子)



平成の森・川島病院の新しい先生です



私は、東京・蒲田に生まれ、小・中・高校時代を埼玉県北本で過ごし、大学生活を富山でおくりました。卒後はそのまま脳神経外科に入局し、これまで脳神経外科と脳卒中の診療に従事してきました。このたび、ご縁があって、平成26年11月から平成の森・川島病院に勤務させていただいています。

現在は、院長先生をはじめ医局の先生方のご指導のもとで2階・3階病棟で業務を行っています。病院システムなど不慣れな点もあり、早く慣れていくように努めていきたいと思っています。また、病院の理念や基本方針に沿って、高齢者の患者さんご家族に寄り添えるようなあたたかい診療を行いたいと思っています。

病院の周辺環境は富山とよく似ていて心安く、また、病院機能もしっかりしていて職員の方々も明るく親切で、これから長く勤務して貢献したいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。

松村内久（マツムラノブヒサ）

第5回いのちの賛歌音楽祭

12月7日（日）に、「これぞ！和の極み」をテーマに、第5回いのちの賛歌音楽祭を開催いたしました。今回は、尺八奏者の千野太山氏と琴奏者の矢島栄雪氏による演奏をご披露いただきました。金屏風と障子で和の趣を演出した舞台、和装の姿での演奏を前にした利用者様は、本格的な演奏会の雰囲気緊張した面持ちでした。

第1部は、「千鳥幻想曲」「寒月」など、尺八と琴による合奏や独奏が行われ、第2部は、「たき火」「旅愁」などなじみのある曲を演奏していただきながら、全員で楽しく歌いました。また、尺八と琴の楽器の説明もしていただき、中には熱心に聞かれている利用者様もいらっしゃいました。

最後に利用者様の中から、若い頃聴いた「六段の調べ」をリクエストされ、琴の音色が会場に響きわたると、当時を懐かしんでいた様子でした。

音楽祭終了後に、「とてもすばらしい演奏だった」とのお声を利用者様からいただきました。来年もすばらしい音楽祭を企画したいと思います。

（介護老人保健施設 平成の森 あじさい通り 林 英郎）



坂井院長、健康講座講演

11月9日、川島町ハッ保公民館で当院の坂井院長が「健康講座」の講演を行いました。

生活習慣病と予防対策、元気で長生きする秘訣についての講演でした。食事に気を付け減塩を意識する、運動習慣を身に着ける、飲酒は控えめで禁煙を心がけるといった内容でした。

多くの方が参加され参加者から質問もあり、皆さんの健康に対する意識の高さがうかがえました。

